

50 帆 100 帆

松島名取ジュニアヨットクラブ機関紙 Vr.18

松島名取ジュニアヨットクラブ

30 周年記念パーティー



ダイニング&バー Z a Z a

平成22年10月2日(土曜) 17時~19時00分
仙台市一番町4-4-18 共同ビル1F 221-3315

松島名取ジュニアヨットクラブ

『満 30 才のお祭り』次第

1. 開会のあいさつ

マスター 高橋 順一

2. 御来賓の紹介とお言葉

3. 乾杯スターボーコール

選手OB会会長 谷本 洋介

4. 懇 談

5. 松島ジュニアの 30 年の航跡

マネージャー 金矢 泰弘

6. 東北少年ヨット連盟会長退任のあいさつ

前会長 香野 俊一

7. クラブ運営役員・新スタッフの紹介

マネージャー 金矢 泰弘

8. 第 26 回東北ジュニア大会祝勝会

前事務局 金本 智吉

9. 各自インタビュー

(皆さん準備してて!)

松島名取ジュニアヨットクラブ 30 周年のお祝い

宮城県セーリング連盟
理事長 庄司一夫

松島名取ジュニアヨットが 30 周年を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。
クラブが発足したのは、私が新入社員として仙台新港に隣接している火力発電所の運転員に配属され、3 交替勤務を始めた年でした。

独身寮は多賀城にあり、卒業後も東北大学ヨット部のコーチを続け、吉田浜の東北大の艇庫に毎週顔を出すことになったから、発足当時、小浜をベースとした松島ジュニアの活動を見る機会が増えることとなりました。

お父さんが子供のために OP を自作し、お母さんが食事の面倒を見て、家族参加でハーバー内や花淵浜でセーリング練習をするという、それまでの七ヶ浜には無かった光景が繰り広げられました。南風に向かって逆光を帆走する姿を、まぶしく眺めていました。

その風景にヨット界の新しい時代の幕開けを感じ、活動に加わりたい思い大学の先輩の香野さんに御願して、コーチとしてクラブに加えて頂きました。クラブ・デー、東北各地での大会、全日本選手権大会等の遠征にも引率として参加しました。

その当時、私がコーチをしながら強く感じていたことは、こんなに小さな時からヨットに親しんでいる彼らの感覚はどのようなものなのか、ヨットを風を波をどのように感じ取っているのだろうかという事でした。私は、大学からヨットを始めた関係から、どうしても理屈からヨットに接することが多く、体に染込む体験をしている彼らを頼もしく、そして羨ましく感じていました。

その後、昭和 63 年から東北大学ヨット部の監督に就任したため、二束の草鞋は履けないということで、ジュニアの活動から離れてしまいました。時は流れ、コーチをして一緒に遊んでいた子供達が成長し、東北大学の好敵手として各地のレース海面でまみえることとなり、また、現在は宮城県セーリング連盟の中核の若手として県連活動を支えている卒業生がいる状況を顧みると、本当に感慨深いものがあります。

未来に向かって様々な風が吹くことにはなりますが、松島名取ジュニアヨットクラブの着実な歩みが、宮城のセーリング活動を支える大きな力になってゆくと確信しています。益々の発展をお祈りします。

松島名取ジュニアヨットクラブ 30 周年のお祝い

日本OP協会名誉会員
よし爺こと吉岡靖郎

松島名取 Jr ヨットクラブの 30 周年記念をお祝い申し上げます。

月日が経つのは早いものです。七が浜で開催された第 1 回全日本オープン OP 級選手権大会（日本三景選手権大会）が懐かしいです。その当時の情景を鮮明に思い出す事が出来ます。時には当時の思い出話に花が咲き盛り上がります。松島 Jr の指導者の皆様方と京都で、宮津で、琵琶湖で、宮島で、東京で、江ノ島で、静岡で、そして仙台他の各地で御交友を賜り厚く感謝と御礼を申し上げます。

袖すり合うも多少の縁と申しますが縁あってしばらく仙台に移り住むことがあり松島 Jr 20 周年の記念式典や同じく 25 周年の記念大会に参画出来た事は無上の喜びであります。

皆様の特にお母様方の一糸乱れぬチームワークのもとホスピタリティーを充分に発揮され大会を成功裏に導かれ、親睦と感動を与えて下さったことに感謝と敬意を表するものであります。誠に僭越ですが当該記念大会に参加された全国のクラブを代表して改めて御礼申し上げます。

春先には蔵王の山並みに白い残雪と明るい青い空、そして紺碧の海と白い波頭の絶妙なコントラストの眺望は必見の風景です。御承知の通り OP クラスは風には強いですが波に対して欠点があります。閉上の海は広大な太平洋に直面するため OP には些かつらいうねりと波を受けます。他の水域と比べ多くのハンディキャップがありますが、どうか諸問題を克服され今後も長く OP の歴史を作り続けられる事を祈念申し上げます。

2010/9/4

MJYC ~ MNJYC 30年の航跡

1980	昭和55年	5月5日創立
1981	昭和56年	第1回東北Jr大会8/7~9(山形・加茂)
1982	昭和57年	第2回東北jr大会8/20~22(七ヶ浜・小浜)
1983	昭和58年	全国少年少女ヨット大会8月(山形・酒田)
1984	昭和59年	第3回東北Jr大会8/17~19(青森・浅虫) 自作OPは13艇となった。その後も・・・
1985	昭和60年	第4回東北Jr大会8/16~18(山形・由良)
1986	昭和61年	第5回東北Jr大会8/1~3(岩手・宮古)
1987	昭和62年	第6回東北Jr大会8/14~16(仙台・仙台港) 活動基地を花淵小浜から松が浜に移す
1988	昭和63年	第7回東北Jr大会8/19~21(青森・浅虫)北海道と共催
1989	平成01年	第8回東北Jr大会8/4~6(秋田・八郎湖)
1990	平成02年	青函レース参加 宮城インターハイのため東北Jrは中止
1991	平成03年	第9回東北Jr大会8/2~4(山形・鼠ヶ関)
1992	平成04年	第10回東北Jr大会8/7~9(岩手・宮古)
1993	平成05年	東日本OP兼全日本オープン大会8/3~5(七ヶ浜・松が浜) 全国少年少女大会8/10~12(山形・鼠ヶ関)
1994	平成06年	第11回東北Jr大会7/29~31(七ヶ浜・松が浜)
1995	平成07年	第12回東北Jr大会7/28~30(青森・青森港) 創部15周年香港遠征8/17~20
1996	平成08年	第13回東北Jr大会兼JJYUリハーサル6/8~9(福島・猪苗代) 全国少年少女ヨット大会8/2~5(福島・猪苗代)

1997	平成 09 年	第 14 回東北Jr大会7/25～27(山形・鼠ヶ関)
1998	平成 10 年	第 15 回東北Jr大会7/24～27(秋田・八郎湖) 活動基地を名取市閑上に移す
1999	平成 11 年	第 16 回東北Jr大会8/13～15(名取・閑上) この年から松島と名取を合併してMNJYCとなる。
2000	平成 12 年	第 17 回東北Jr大会7/28～30(岩手・宮古) 創部 20 周年を記念して北海道小樽遠征(フェリー & バス)
2001	平成 13 年	第 18 回東北Jr大会8/10～12(青森 / 合捕) 新世紀みやぎ国体(閑上)～MNJYCは運航部等で活躍
2002	平成 14 年	全国少年少女ヨット大会8/2～4(名取・閑上)
2003	平成 15 年	第 19 回東北Jr大会7/25～27(酒田・最上川) 東日本OP選手権8/22～24(名取・閑上)
2004	平成 16 年	第 20 回東北Jr大会7/23～25(秋田・男鹿)
2005	平成 17 年	第 21 回東北Jr大会7/29～31(岩手・宮古) 全日本OP選手権11/3～5(名取・閑上)
2006	平成 18 年	第 22 回東北Jr大会8/12～14(名取・閑上)
2007	平成 19 年	第 23 回東北Jr大会8/10～12(青森・浅虫) 閑上の子供達を中心に広浦キッズを立ち上げました
2008	平成 20 年	第 24 回東北Jr大会8/8～10(山形・鼠ヶ関)
2009	平成 21 年	第 25 回東北Jr大会8/7～9(岩手・宮古) 閑上にフィッシャリーナハーバーが完成～基地移動
2010	平成 22 年	第 26 回東北Jr大会8/6～8(名取・閑上) MJYC30周年記念祭

第26回東北ジュニアヨット大会成績

(2010年8月7、8日・名取市関上フィッシャリーナ沖海面)

OP級ツーマン

優勝 及川慧悟・千葉理路(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 3点

2位 三河なつみ・船山祐花子(宮古) 7点

3位 千葉隆勢・庄子実桜(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 8点

OP級小学生

優勝 菊池千陽(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 7点

2位 伊藤聖夏(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 8点

3位 加藤卓(宮古) 12点

4位 菊池 美輝(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 20点

OP級中学生

優勝 遠藤悠(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 5点

2位 山田かすみ(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 10点

3位 鎌田慶史(浅虫) 13点

シーホッパー級SR

優勝 阿部七海(酒田) 5点

5位 金本 小波(松島名取 Jr.ヨットクラブ) 25点

2010 松島・名取ジュニアヨットクラブ役員		since 1980
役 職	氏 名	
会 長 (マスター)	相原 幸治	
副会長 (サブマスター)	佐々木一十郎	
顧 問	高橋 順一 香野 俊一 吉岡 靖郎	
	赤間 宣夫 関 慶 砂金 紀	
	相澤 孝司 大久保寿人	
支配人 (マネージャー)	金矢 泰弘	
副支配人 (サブマネージャー)	金本 智吉	
指導員 (コーチ、主にOP/SR)	稲川 修也	
(コーチ、主にOP)	松本 文彦	
(コーチ、主にSS)	尾形 依子	
準指導員 (トレーナー)	多田 千佳	
会 計	庄子 文康 (補佐：金本)	
事務局 (総務・広報)	菊池 輝繁 (補佐：山田)	
ハーバー管理委員	菊池 輝繁	
レスキュー担当	原田 能之 及川 芳哉	
選手・OB会会長	谷本 洋介	
PTA・OB会会長	門伝 晴夫	
県連理事	遠藤 芳純	
名取市体協担当	会長：芳野 昭夫、理事長：遠藤 弘信	

(役員交代解説)

国内で 30 年を迎えたジュニアヨットクラブはそんなに多くはありませんが、節目の年にイベントを催しているクラブは稀でしょう。ちなみに我が指導を仰いだ江の島 Jr は 47 年になりました。(石原自民党幹事長は 2 期生です)

さて、東北に目を向ければ、東北大会は順調に回数を増やしているもののクラブの衰退はかなり進んでおります。最大で 16 チームあったクラブは、今年は第 1 回大会と同じ 6 チームの参加となり、秋田はゼロとなっています。そんな中、かろうじて存在を維持しているのが松島・名取 Jr です。県連や Jr・OB のご尽力に支えられ、いい環境に恵まれ今日に至っています。

満 30 年を迎えた MJYC ですが、今日までお世話になった高橋マスターと香野サブマスターのご退任に伴いまして、運営スタッフを上記のように交代いたします。クラブの歴史や多方面との関係で松島・名取は東北の中心的役割を持っているところから、今後も両氏には顧問として我らを指導してくれることをお願いして、新スタッフにバトンタッチしてもらうことになりました。

相原会長は名取国体前に参加し、総務とハーバー委員会を歴任し、現在は子供達と A 級ディンギーで遊んでいます。中学高学年や高校生の為にトラピーズ：スピン仕様の SS クラス艇を、現役部員・スタッフのご協力でご購入しまして、尾形依子コーチのもと国体を目指していきます。トレーナーの多田千佳さんは東北大 OB で、今でも OP 体重制限？以内で乗艇しながら頑張ってもらいます。事務局は 3 人家族で先が長い菊池さんに、会計は自営業の庄子さんに、レスキューは現在 5 艇とクルーザー (29ft) があり、管理を原田・及川さんをお願いしました。

- 金矢 -

「50 帆 100 帆」30 周年記念特別号への投稿のお願い

ジュニアに関係した皆様へ、それぞれのジュニアへの思いをお寄せ願います。

皆様からいただいたお言葉は、後日発刊する機関誌「50 帆 100 帆」30 周年記念特別号へ掲載いたします。一言でも結構ですので、沢山の方からの投稿をお待ち申し上げます。

投稿先は、E-mail にて matsushima_jr@yahoo.co.jp あてに送信願います。松島名取ジュニアヨットクラブのホームページからも投稿できます。

URL : http://www.geocities.jp/matsushima_jr//